

特別活動のよさを生かす

名古屋市学校教育研究会
特別活動研究部長

鈴木 勝彦



最近、自主的・自発的な学習が促されるように工夫されたり、課題を解決するために必要な思考力、判断力などが育まれたりしている授業をよく見かけます。

このような子どもの主体性に重きをおいた授業を展開するためには、日々の学校生活の中で、次のような力を高めていくことが大切です。「協力し合う人間関係を築く」「よりよい解決に向かって話し合う」「個々の考え方や違いを認める」。これらは、特別活動のよさそのものです。

特別活動の時間では、子どもたちの実際の姿から、どのような活動をどのような方法で、何を指導し何を子どもたちに委ねていけばよいのか、どのような事柄を積み上げていけばよいのかなどを洗い出す必要があると考えています。また、予想される問題の焦点化、活動時間のスリム化なども併せて図っていくと、より大きな成果が期待できます。

特別活動アイデアコーナー

せっかく頑張っている児童会活動。活動の様子を目に見えようにしませんか？

掲示板を活用しましょう！



活動のスローガンや役員の自己紹介、各委員会の活動紹介等を、土間や階段の掲示板に掲示してみては？

子どもたちのやる気もアップします！

前期児童会会長
6年1組 ○○○○



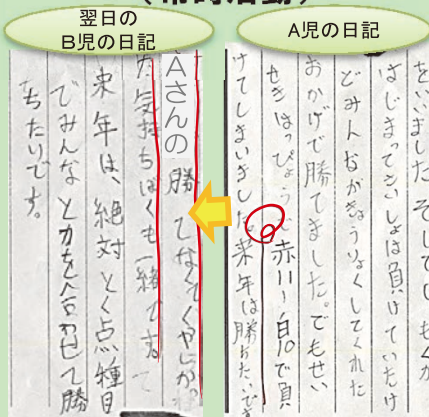
スローガンを達成するために、みんなで楽しめるゲーム大会などの企画を考えます。

相手の気持ちを考えて行動できる児童を育て、さらに温かな学級にしていきたい！そこで…

こんな実践みーつけ！



みんなの気持ちノート (常時活動)



友達にしてもらってうれしかったことや学級生活の思い出を書く。それに対して、次の人がコメントを書く。学級全員でリレーする。

素地作り

「みんなの気持ちノート」を活用したことで、友達の考えや気持ちが分かるようになりました。また、学級会での話し合い活動に「チェンジタイム」を取り入れたことで、互いの考えを理解し、みんなによりよい解決策を追求することができるようになってきました。

名古屋市立米野小学校 木村 泰樹



相互理解

受容・共感

自己開示

チェンジタイム
(学級会の中で)



集会内容についてのアンケート結果を見て、自分と違う意見があることに気付く。その後、立場を替えて(チェンジして)話し合う。

みんなで解決

特別活動を学び合おう！ 6月19日

三人寄れば文殊の知恵

みんなで話し合ってアイデアを見付けよう

「低・中・高 話し合い活動」「係活動」「児童会・生徒会活動」のグループに分かれて研修しました。次のことが話題になりました。

低・中・高 話し合い活動グループ

- ・ 隊形やグループ編成の工夫
- ・ 「出し合う」→「比べ合う」→「まとめる」の流れで進める話し合い活動の留意点



係活動グループ

- ・ 活動時間を生み出す様々なアイデア
- ・ 教師の助言の仕方やそのポイント

児童会・生徒会グループ

- ・ 子どもの創意工夫を生かす委員会活動
- ・ 全校児童との関わりをつくる方法

学び合い！

学級活動実技研修会 8月7日

「なすことによって学ぶ」それが特別活動

自らの体験を学級経営に生かしましょう

夏の暑い中、多くの先生方が、学級活動の進行の仕方や効果を体感しました。



講座前半「人間関係を深め、仲間づくりをしよう」

簡単に組みあわせるアイスブレイクを紹介しました。



話さないで、同じマークの仲間を見つけましょう。『パートナーを探せ』

- ・ 『どんパンゲーム』
- ・ 『ナンバー1よりオンリー1』
- ・ 『しりとり自己紹介』

アイスブレイクとは？

場の雰囲気や和らげたり、話し合うきっかけをつくらしたりするための簡単なゲームや運動などのことです。楽しむだけでなく、どのような効果を期待するのか、明確なねらいをもって行うことが大切です。

ポイント

講座後半「模擬学級会をしよう」

小学校3年生を想定し、「もっと仲良くなる」という学級目標の達成を目指して、模擬学級会を行いました。



活動① 「ありがとう」の意味を考える

ありがとうカードのグループ分けを通して、感謝する気持ちは「親切」だけでなく、「協力」や「励まし」などの言動からも生まれることに気付きました。

活動② 合言葉を作り「仲良くなりたい」という気持ちを高める

グループに分かれて合言葉を作成し、発表し合いました。学級目標の達成を目指そうとする気持ちの高まりを実感するとともに、集団決定の方法を学びました。